

三重県道路脱炭素化推進計画

令和8年3月

目次

1. 道路の脱炭素化の目標.....	3
1.1 「道路管理分野」の目標	3
1.1.1 「道路管理分野」全体のCO ₂ 排出量	3
1.1.2 「道路管理分野」全体のCO ₂ 削減目標	3
1.1.3 「道路管理分野」の個別施策毎のCO ₂ 削減目標	3
1.2 「道路整備分野」の目標	3
1.3 「道路利用分野」の目標	4
2. 目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項 ...	4
2.1 道路管理分野	4
2.1.1 道路関係車両の電動化	4
2.1.2 道路照明のLED化	4
2.1.3 再生可能エネルギー活用	5
2.2 道路整備分野	6
2.2.1 低炭素材料の導入促進	6
2.3 道路利用分野	6
2.3.1 主要渋滞箇所における渋滞対策	6
2.3.2 自転車の利活用促進	7
2.4 ロードマップ	8

1. 道路の脱炭素化の目標

1.1 「道路管理分野」の目標

1.1.1 「道路管理分野」全体の CO₂ 排出量

本計画における目標の基準年度となる 2013 年度の道路管理分野の CO₂ 排出量を示す。

表 1 道路管理分野における CO₂ 排出量

区分	CO ₂ 排出量
	2013 年度（基準年度）
1. 道路関係車両からの CO ₂ 排出量※	364t
2. 道路照明の電力消費による CO ₂ 排出量	2,975t
3. 道路設備・施設の電力消費による CO ₂ 排出量	831t
計	4,170t

※ 道路関係車両からの CO₂ 排出量は各建設事務所全体の排出量を合算しており、他分野を含めて算出している。

1.1.2 「道路管理分野」全体の CO₂ 削減目標

本計画の「道路管理分野」全体における目標年度及び目標削減率は以下のとおり。

表 2 道路管理分野における CO₂ 削減目標

	2030 年度	2040 年度
CO ₂ 目標削減率	38%	45%
CO ₂ 目標削減量	1,586t/年	1,856t/年

1.1.3 「道路管理分野」の個別施策毎の CO₂ 削減目標

「道路管理分野」全体の CO₂ 削減目標達成に向けて、「道路関係車両の電動化」、「道路照明の LED 化」、「再生可能エネルギー活用」により、2013 年度比でそれぞれ 2040 年度までに以下の通り CO₂ 削減する。

表 3 取組の実施による CO₂ 削減量

取組内容	各取組の整備指標			CO ₂ 削減量	
	2013 年度 (基準年度)	2030 年度	2040 年度	2030 年度	2040 年度
1. 道路関係車両の電動化	0%	40%	100%	21t/年	53t/年
2. 道路照明の LED 化	0%	61%	71%	1,051t/年	1,220t/年
3. 再生可能エネルギー活用	9%	55%	65%	514t/年	583t/年
計				1,586t/年	1,856t/年

1.2 「道路整備分野」の目標

道路整備分野の CO₂ 削減策として、試行工事の実施等を通して、「低炭素材料の導入促進」の取組を検討し、検討結果に応じて、今後目標を定めるものとする。

表4 道路整備分野における施策の整備指標

取組内容	低炭素材料の導入促進		
	2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
低炭素材料の導入促進	-	今後検討	今後検討

1.3 「道路利用分野」の目標

道路利用分野のCO₂削減策として、「主要渋滞箇所における渋滞対策」、「自転車の利活用促進」の取組を実施する。

表5 道路利用分野における施策の整備指標

取組内容	主要渋滞箇所数		
	2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
主要渋滞箇所における渋滞対策	129箇所	115箇所	今後検討
取組内容	NCRにおける自転車通行空間の整備率		
	2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
自転車の利活用促進	-	100%	100%

2. 目標を達成するために行う道路の脱炭素化の推進を図るための施策に関する事項

2.1 道路管理分野

道路管理分野のCO₂削減目標達成のための取組は、以下のとおりである。

2.1.1 道路関係車両の電動化

(2030年度までの取組)

2030年度までに公用車の40%の電動化を進める。

(2040年度までの取組)

2040年度までに公用車の100%の電動化を進める。

表6 道路関係車両の電動化率

対象車種	2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
公用車※	0%	40%	100%

※ 電動化が困難な車両は除く。

2.1.2 道路照明のLED化

(2030年度までの取組)

2030年度までに道路照明およびトンネル照明の61%をLED化する。

(2040年度までの取組)

2040年度までに道路照明およびトンネル照明の71%をLED化する。

表7 道路照明およびトンネル照明のLED化率

取組内容	2013年度 (基準年度)	2030年度	2040年度
道路照明LED化	0%	37%	38%
トンネル照明LED化	0%	82%	100%
合計	0%	61%	71%

2.1.3 再生可能エネルギー活用

(2030年度までの取組)

2030年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を55%にする。なお、目標達成に向けては、再生可能エネルギーを活用した電力の調達に加えて、道路区域内における3箇所の太陽光発電施設により再生可能エネルギーを活用する。

(2040年度までの取組)

2040年度までに道路管理に使用する電力の再生可能エネルギー比率を65%にする。また、次世代の「ペロブスカイト太陽電池」について、実証試験等の状況を鑑み、道路区域内への設置に向けて検討していく。

表8 調達電力の再生可能エネルギー比率

2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
9%	55%	65%

表9 道路区域内の太陽光発電設置箇所数

2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
0箇所	3箇所	今後検討

2.2 道路整備分野

道路整備分野の取組は、以下のとおりである。

2.2.1 低炭素材料の導入促進

(2030年度までの取組)

アスファルト合材やコンクリート等における低炭素材料の積極的な導入を検討する。具体的には、技術の状況及び製造工場の動向を確認し、試行工事の実施等を通して導入の検討を進め、検討結果に応じて、今後目標を定めるものとする。

(2040年度までの取組)

検討結果に応じて、今後目標を定めるものとする。

表 10 道路整備分野における施策の整備指標（再掲）

取組内容	低炭素材料の導入促進		
	2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
低炭素材料の導入促進	-	今後検討	今後検討

2.3 道路利用分野

道路利用分野の取組は、以下のとおりである。

2.3.1 主要渋滞箇所における渋滞対策

(2030年度までの取組)

三重県道路交通渋滞対策推進協議会で関係機関相互の調整を図りながら、主要渋滞箇所（自動車ボトルネック踏切を含む）に対し、自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変更を促すTDM（交通需要マネジメント）等のソフト対策や、バイパス・現道拡幅等のハード対策を実施し、2030年度までに主要渋滞箇所を115箇所とする。

(2040年度までの取組)

引き続き、三重県道路交通渋滞対策推進協議会で関係機関相互の調整を図りながら、主要渋滞箇所（自動車ボトルネック踏切を含む）に対し、更なる対策を進める。

表 11 道路利用分野における施策の整備指標（再掲）

取組内容	主要渋滞箇所数		
	2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
主要渋滞箇所における渋滞対策	129箇所	115箇所	今後検討

2.3.2 自転車の利活用促進

(2030年度までの取組)

安全で快適な自転車通行空間の確保により、自動車利用から自転車利用への転換を促進する。三重県が管理するNCR（ナショナルサイクルルート）において、自転車交通が特に多いなど優先度が高い区間を整備区間として定め、2030年度までに整備区間における自転車通行空間整備率を100%とする。

(2040年度までの取組)

引き続き、自転車通行空間の確保に取り組み、安全で快適に自転車を利用できる社会の実現に努める。

表 12 道路利用分野における施策の整備指標（再掲）

取組内容	NCRにおける自転車通行空間の整備率		
	2013年度(基準年度)	2030年度	2040年度
自転車の利活用促進	-	100%	100%

2.4 ロードマップ

2.1 から 2.3 に記載した取組毎に、実施時期をロードマップとして示す。

表 13 三重県の脱炭素化に係るロードマップ

取組分野	取組内容	2026 年度	2027 年度	～2030 年度	～2040 年度
道路管理分野	道路関係車両の電動車化	電動車の導入促進			
	道路照明の LED 化	LED 道路照明への交換・導入			
	再生可能エネルギー活用	電力調達の改善			
太陽光発電設備の設置・新技術の実証試験					
道路整備分野	低炭素材料の導入促進	試行工事の実施等による導入の検討			
道路利用分野	主要渋滞箇所における渋滞対策	渋滞対策推進協議会による官民一体となった取組の推進			
	自転車通行空間の整備	NCR における自転車通行空間の整備			安全な自転車通行空間の確保